

コード	50204
作成年度	26年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	学習基盤の整備
--------	---------

総合計画の位置付け	
政策名称	しまの誇り・文化の育成
施策名称	生涯学習の充実

課コード	125	関係課名	文化財課
主管課名	生涯学習課		

## 基本事業の目的

社会教育施設の適正な維持管理を行うとともに、運営方法の統一などを推し進め利便性の向上を図り、生涯学習社会実現のための人づくりを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	公民館講座の開催数	成果指標名称 2	公民館利用者数
成果指標の積算根拠	計画した公民館講座の開催数	成果指標の積算根拠	前年度公民館利用者数
目標達成年度	平成26年度	目標達成年度	平成26年度
目標達成数値	毎年15回	目標達成数値	123,522人

年		度		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
成果指標 1	目標 A	単位	回	15	15	15	15	15
	実績 B		回	11	15	11	10	-
	達成率 B/A		%	73.3	100.0	73.3	66.7	
成果指標 2	目標 A	単位	人	121,851	123,073	99,111	103,674	123,522
	実績 B		人	123,073	99,111	103,674	123,522	-
	達成率 B/A		%	101.0	80.5	104.6	119.1	

1次評価	現状	使用料・運営方法の統一を図り、町民の利便性向上に努めてきているが、経年劣化による施設老朽化が顕著である。
	課題	職員が減員する中で施設の有効活用を考慮し、いち早く教育施設として利用しないものについては、普通財産へ移管したうえで処分または活用策を精査する必要がある。今後、耐震化を含めた社会教育施設の計画的な改修が必要である。
	改善	所管を越えた施設の管理・運営について、統一した協議が行政内部でできるよう推し進めるとともに、施設の耐震化を策定し、国・県の支援が受けられる改修計画を立案する。

2次評価	社会教育施設の中で複合施設として管理されている施設については、施設規模や利用形態を検討し、管理・運営方法を見直していくこと。施設の老朽化・耐震化については、効果的・効率的対応と行政コスト縮減の観点から、利用効果が見られない施設については処分の方向で検討していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
----------------	--

町の対応	
------	--

※3次評価は、住民等の意見があった場合にのみ、再度公表するものとする。

◆基本事業を構成する評価対象事業◆

番号	評価コード	評価対象事業名称	担当課	平成25年度 直接事業費	評価の方向性
1	502040109	社会教育関係団体補助事業	生涯学習課	5,786千円	(途中) このまま事業を継続
2	502040110	公民館活動振興補助事業	生涯学習課	50千円	(途中) 事業内容を見直して継続
3	502040112	日本の宝「しま」体感交流事業実行 委員会補助事業	生涯学習課	894千円	(途中) このまま事業を継続
4	502040202	有川総合文化センター補強・大規模 改造事業	生涯学習課	9,240千円	(途中) このまま事業を継続
5	502040502	捕鯨友の会活動費補助事業	文化財課	30千円	(途中) このまま事業を継続
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
基本事業を構成する評価対象事業の合計事業費				16,000千円	